



2010年12月期 第2四半期 決算説明資料

株式会社アウトソーシング
(JASDAQ 2427)
2010年8月



- P 3 2010年12月期 第2四半期 連結決算概要
- P10 2010年度予算の達成に向けた下期グループ戦略
- P16 アウトソーシンググループ 短中期事業戦略
- P30 2010年12月期 業績修正と予想について
- P35 参考資料

2010年12月期 第2四半期 連結決算概要



- 当社グループにおける主要取引先業種である、輸送機器及びエレクトロニクス関連を中心に期首予想を上回る受注獲得
 - 売上高 前年同期比 66.0%増
- 大不況に対応した管理体制の大幅な合理化直後の受注拡大のため、営業社員、現場管理社員及び外勤社員の増員に係る募集費や寮関連費用が発生
 - 一過性の先行投資費用として 約200百万円計上
- 主力事業である生産アウトソーシング事業を中心に大幅な利益伸長
 - 営業利益 前年同期より630百万円増（前年同期 ▲374百万円）

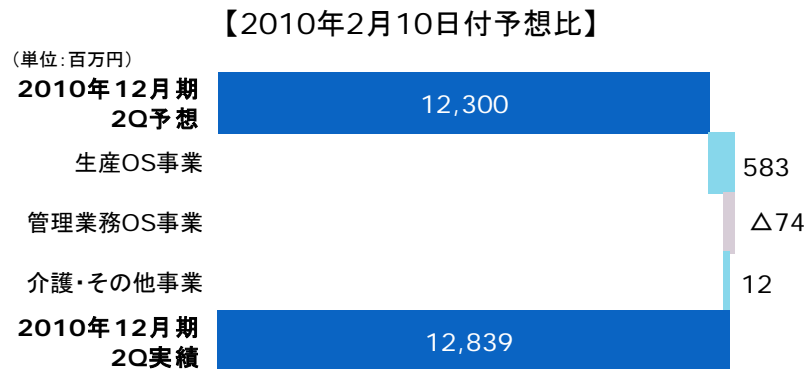
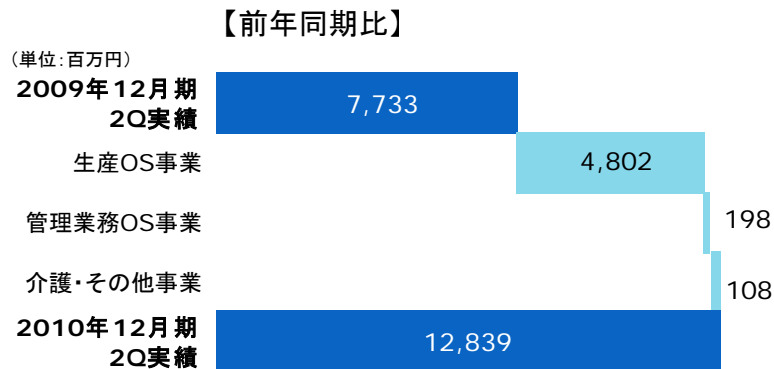
第2四半期において、受注拡大に対する体制強化のための先行投資は終了し、上期受注増加分の売上寄与に加え、受注拡大の継続により下期は収益拡大

2010年12月期 第2四半期 連結業績の概要

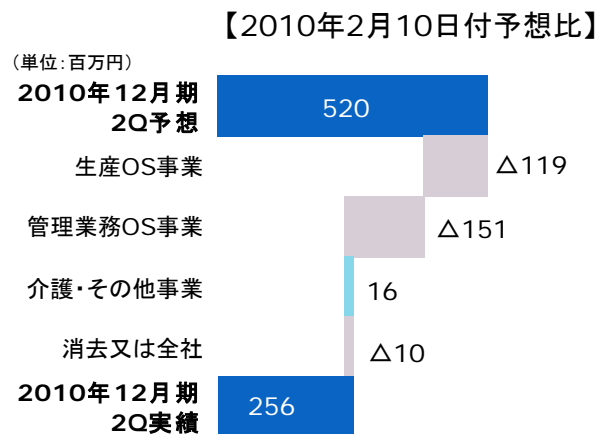
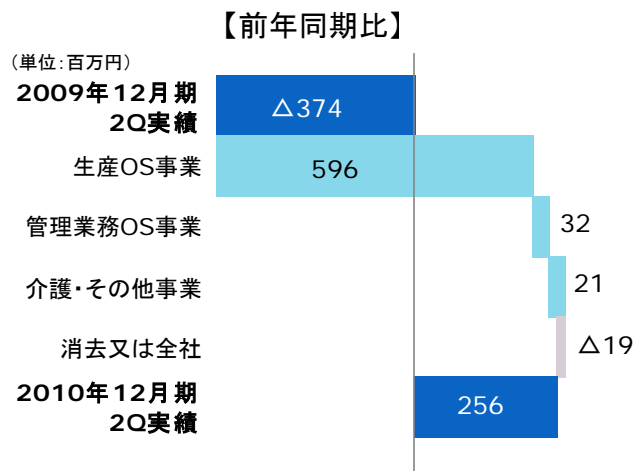
(百万円)	2009年12月期 2Q(累積)実績		2010年12月期 2Q(累積)実績		前年同期比		増	減	10/2/10付予想比	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	率			金額	率
売上高	7,733	100.0%	12,839	100.0%	5,106	66.0%			539	4.4%
売上原価	6,557	84.8%	10,294	80.2%	3,736	57.0%			-	-
売上総利益	1,175	15.2%	2,545	19.8%	1,369	116.5%			-	-
販売管理費	1,550	20.0%	2,288	17.8%	737	47.6%			-	-
営業利益	△ 374	-4.8%	256	2.0%	631	n.a			△ 263	-50.6%
営業外収益	82	1.1%	311	2.4%	228	275.5%			-	-
営業外費用	14	0.2%	188	1.5%	173	1165.7%			-	-
経常利益	△ 306	-4.0%	379	3.0%	686	n.a			△ 190	-33.4%
特別利益	0	0.0%	31	0.2%	31	n.a			-	-
特別損失	205	2.7%	58	0.5%	△ 146	-71.4%			-	-
当期純利益	△ 401	-5.2%	162	1.3%	564	n.a			△ 177	-52.3%

2010年12月期 第2四半期 セグメント別売上高/営業利益の概要

売上高増減内訳



営業利益増減内訳



セグメント別 四半期業績の推移

(百万円)		2009年12月期				2010年12月期	
		実績 1Q	実績 2Q	実績 3Q	実績 4Q	実績 1Q	実績 2Q
生産 アウトソーシング事業	期末外勤社員数(人)	4,824	4,559	5,030	6,109	6,223	6,192
	売上高	3,908	3,548	4,174	5,569	6,020	6,245
	営業利益	△ 300	△ 89	11	160	112	94
管理業務 アウトソーシング事業	売上高	7	36	54	85	80	161
	営業利益	0	15	16	5	9	36
介護事業	売上高	35	100	104	107	118	108
	営業利益	8	19	19	21	28	22
その他の事業	売上高	56	40	64	70	63	41
	営業利益	6	0	8	6	5	0
消去又は全社	営業利益	△ 17	△ 17	△ 4	△ 20	△ 26	△ 26
合計	売上高	4,007	3,725	4,397	5,832	6,282	6,557
	営業利益	△ 303	△ 70	51	172	128	128

2010年12月期 第2四半期 連結貸借対照表の概要

(百万円)	2009年12月期 第2四半期		2010年12月期 第2四半期		前年同期比 増減額
	金額	構成比	金額	構成比	
【資産】					
流動資産	3,973	56.4%	5,766	60.7%	1,792
(現金・預金)	1,298	18.4%	1,425	15.0%	127
(受取手形・売掛金)	1,963	27.8%	3,531	37.2%	1,568
(たな卸資産)	84	1.2%	65	0.7%	△ 19
固定資産	3,071	43.6%	3,732	39.3%	661
有形固定資産	2,150	30.5%	2,153	22.7%	2
無形固定資産	199	2.8%	590	6.2%	390
投資その他の資産	721	10.2%	989	10.4%	267
資産合計	7,049	100.0%	9,502	100.0%	2,453
流動負債	2,505	58.7%	4,691	70.5%	2,186
(支払手形・買掛金)	8	0.2%	64	1.0%	55
(短期借入金)	690	16.2%	1,496	22.5%	806
固定負債	1,763	41.3%	1,959	29.5%	196
(長期借入金)	621	14.6%	980	14.7%	359
負債合計	4,268	100.0%	6,651	100.0%	2,382
株主資本	2,664	37.8%	2,754	29.0%	89
資本金	479	6.8%	483	5.1%	3
資本剰余金	876	12.4%	879	9.3%	3
利益剰余金	1,527	21.7%	1,781	18.7%	254
自己株式	△ 218	-3.1%	△ 391	-4.1%	△ 172
評価・換算差額等	△ 6	-0.1%	1	0.0%	8
新株予約権	38	0.5%	49	0.5%	10
少数株主持分	83	1.2%	45	0.5%	△ 37
純資産合計	2,780	39.4%	2,850	30.0%	70
負債純資産合計	7,049	100.0%	9,502	100.0%	2,453

- 事業規模拡大に伴う売上債権の増加

- 子会社取得に伴う増加

- 事業規模拡大に伴う一時的運転資金の借入

- 社員寮建設資金の借入
- 子会社の取得に伴う増加

- 自己株式の取得による増加

2010年12月期 第2四半期 連結キャッシュ・フロー計算書の概要

(百万円)	2009年12月期 第2四半期 金額	2010年12月期 第2四半期 金額	前年同期比 金額
税金等調整前当期純利益	△ 511	352	863
減価償却費	91	114	22
のれん償却額	40	60	19
負ののれん償却額	△ 29	△ 77	△ 48
売上債権の増減額	1,106	△ 486	△ 1,593
仕入債務の増減額	△ 368	520	889
その他	△ 415	△ 50	365
営業活動による キャッシュ・フロー合計	△ 86	433	520
投資活動による キャッシュ・フロー合計	△ 321	269	591
借入金の増減額	117	△ 629	△ 746
自己株式の取得による支出	-	△ 172	△ 172
配当金の支払額	△ 72	△ 95	△ 23
その他	△ 24	△ 54	△ 30
財務活動による キャッシュ・フロー合計	20	△ 951	△ 972
合併に伴う現金及び 現金同等物の増減額	848	-	△ 848
現金及び現金同等物の 期末残高	1,052	1,386	333

- 売上高増加に伴う売上債権の増加

- 事業規模拡大に伴う未払給与等の増加

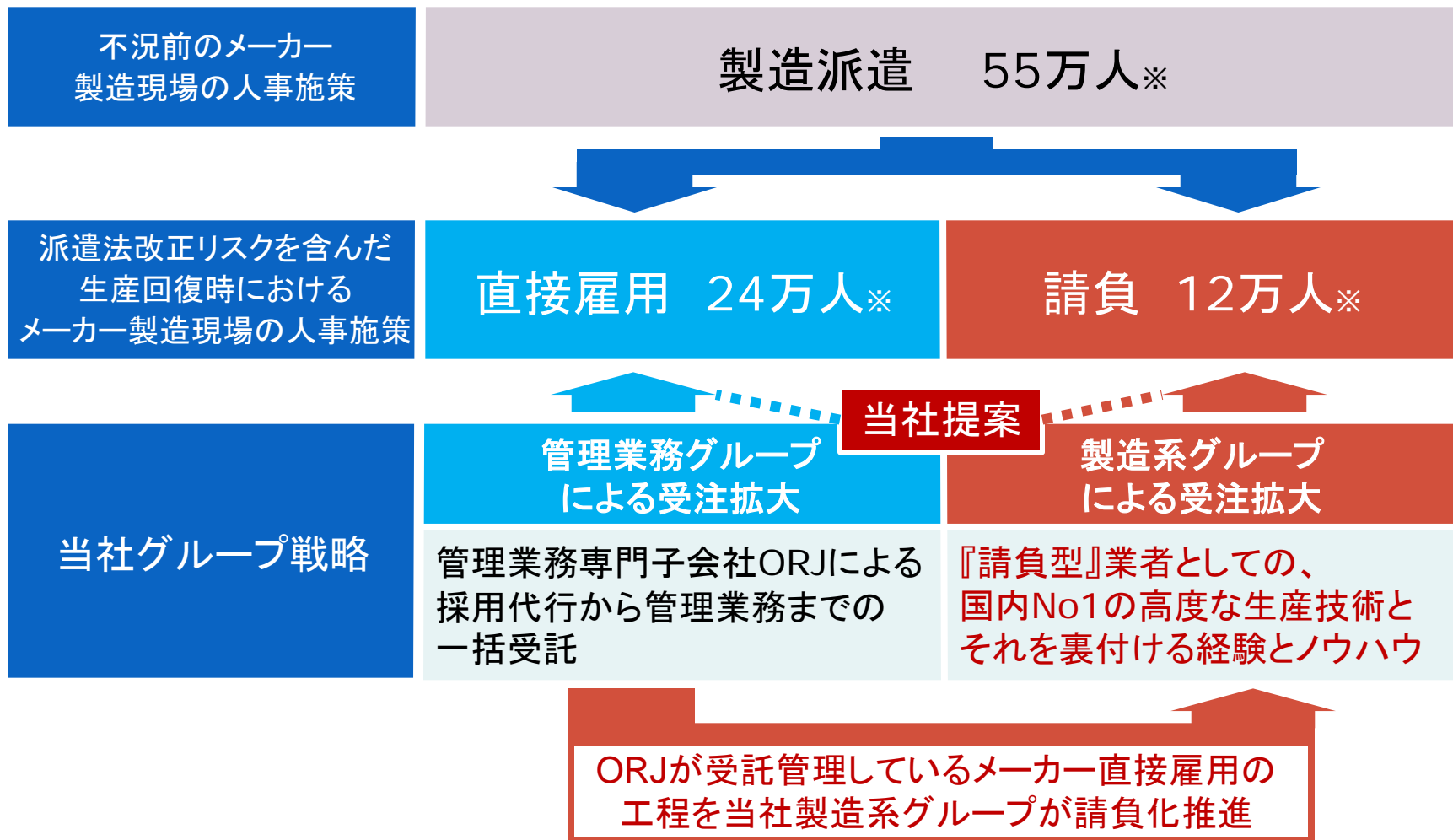
- 借入金返済による減少

2010年度予算の達成に向けた下期グループ戦略



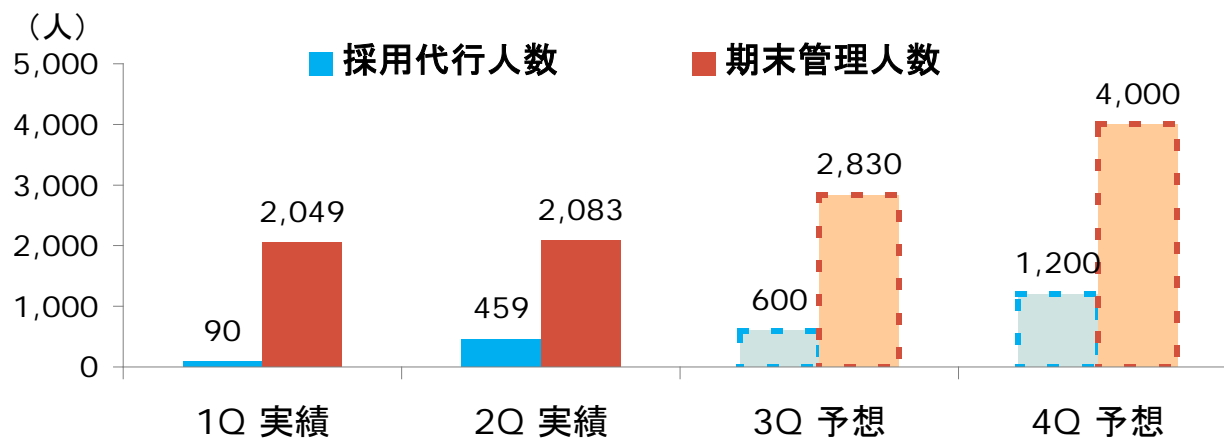
アウトソーシンググループ 下期受注拡大戦略

※ 2010年1月18日付日本経済新聞データを基に当社にて作成



製造派遣の禁止リスクを含んだ生産回復は、『請負型』生産アウトソーシングを推進してきた当社グループにとって大きなフォローとなり下期において受注拡大

管理業務アウトソーシング事業の下期受注

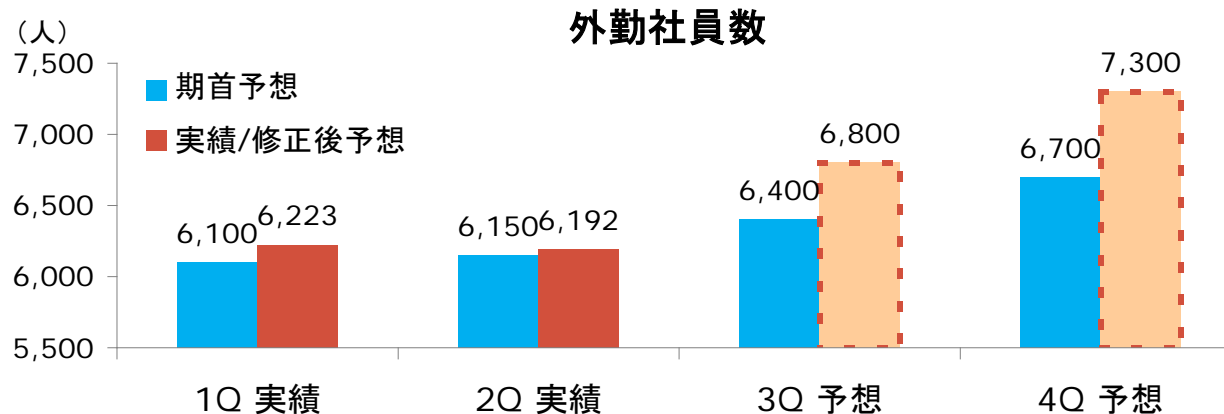


● 下期受注

～ 下期を通じての採用代行から管理業務受託まで～

社名	採用代行から管理業務受託	備考
A社グループ	600名	輸送機器メーカーグループ5社での受注
B社	500名	全国 5工場での受注
C社	400名	全国13工場での受注

生産アウトソーシング事業の下期受注



● 2Q実績

- 食品関連での短時間就労者が減少したことにより外勤社員数は微減
- 輸送機器等における終日就労者の増員により、2Q売上高は同期1Q対比で4.4%増

● 下期受注予想

- A社堺工場において、第10世代液晶大型パネル製造の請負開始
3月末 約100名 ⇒ 6月末 約140名(実績) ⇒ 10月末 約300名(内定)
- ORJが受託管理するメーカー期間社員の生産工程を当社製造系グループが請負化推進
B社の全国7工場におけるORJが受託管理するメーカー期間社員の内、
7月下旬より、2工場で120名が、順次当社外勤社員となり、請負化スタート
今期末までに、全7工場で約280名のメーカー期間社員が当社外勤社員に転籍予定

2012年度12月期末までに、約6,700名の受託管理者数を予定する内の
約80%にあたる5,000名を順次請負化予定

2010年12月期 セグメント別業績予想の概要

(百万円)		2010年12月期			
		実績 1Q	実績 2Q	今後の見通し	
				3Q	4Q
生産 アウトソーシング事業	期末外勤社員数(人)	6,223	6,192	6,800	7,300
	売上高	6,020	6,245	→	↗
	営業利益	112	94	→	↗
管理業務 アウトソーシング事業	売上高	80	161	→	↗
	営業利益	9	36	→	↗
介護・その他事業	売上高	181	150	↘	→
	営業利益	33	23	※	→
消去又は全社	営業利益	△ 26	△ 26		
合計	売上高	6,282	6,557	→	↗
	営業利益	128	128	→	↗

※ 子会社わらべうた(株)売却による

【ご参考】 2010年2月10日付 セグメント別業績予想(四半期)

(百万円)		2010年12月期 予想(10/2/10付)			
		1Q	2Q	3Q	4Q
生産 アウトソーシング事業	期末外勤社員数(人)	6,100	6,150	6,400	6,700
	売上高	5,822	5,860	6,177	6,499
	営業利益	134	192	234	312
管理業務 アウトソーシング事業	売上高	109	206	347	370
	営業利益	55	142	261	273
介護・その他事業	売上高	160	160	160	160
	営業利益	20	20	20	20
消去又は全社	営業利益	△ 20	△ 20	△ 20	△ 20
合計	売上高	6,091	6,227	6,685	7,029
	営業利益	191	334	495	586

営業利益計画

6月度

182百万円(実績)

7月度

200百万円(予想)

8月度

稼働日減少の為

営業利益は7月度より減少

9月以降

生産回復基調に年末及び
来春に向けた増産が加わり
7月度以上の営業利益を予想

生産アウトソーシング事業 業界別売上高の推移と方向性

(百万円)	2009年12月期				2010年12月期		今後の方向性
	実績	実績	実績	実績	実績	実績	
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	
生産アウトソーシング事業	3,908	3,548	4,174	5,569	6,020	6,245	 <hr/> 
電気機器関係	994	1,081	1,052	1,614	1,754	2,074	
輸送機器関係	465	261	751	1,332	1,564	1,448	
化学・薬品関係	849	810	938	1,070	1,017	975	
金属関係	119	52	61	98	72	59	
食品関係	1,044	873	843	675	510	478	
その他	435	467	527	777	1,100	1,167	

- A社グループにおける、自動車向けバッテリーの設計・開発から量産までの一括受託

4月度 設計部門40名 量産部門70名(一部工程において請負化)

8月から新型車に搭載するリチウムイオンバッテリーの量産工程を受注

今期末 160名体制 (受注)

来期末 500名体制 (生産計画による見込)

- B社に対し、毎年4~7月にかけて家庭用エアコン製造向けに約200名の派遣社員を短期供給

業務用エアコンの受注により請負にシフトし、200名体制の通年受注が確定

来期においては、給湯器やシステムキッチン等の請負へ受注拡大見込み

アウトソーシンググループ 短中期事業戦略

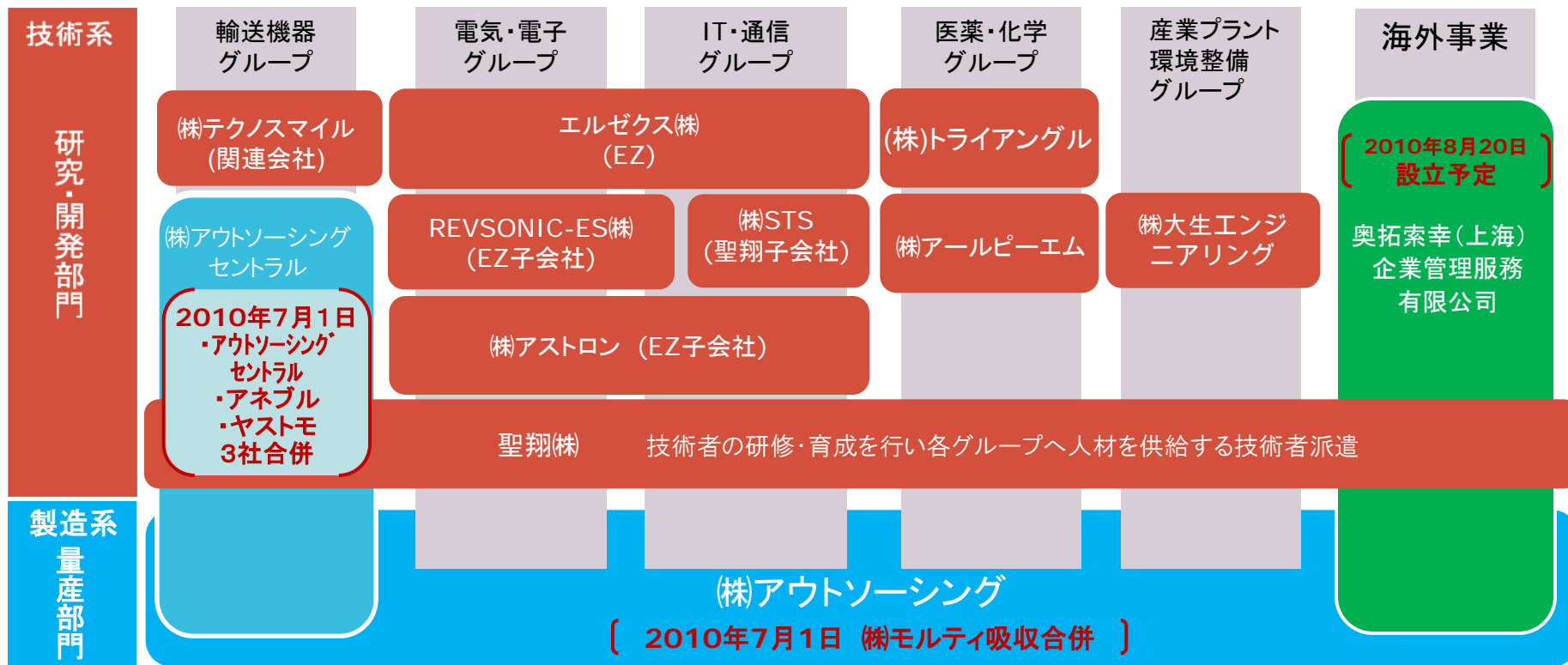


一括受託体制の基盤を強化したアウトソーシンググループ

(2010年7月31日現在)

- 前期において、高度な研究・開発の受託に必要な経営資源を戦略的M&Aにより積極的に取得
- 新たなメーカーニーズである、二次的研究・開発からその後の量産部門までの一括外注化ニーズに対応できる基盤を構築

生産アウトソーシング事業



管理業務
アウトソーシング事業

(株)ORJ

介護事業

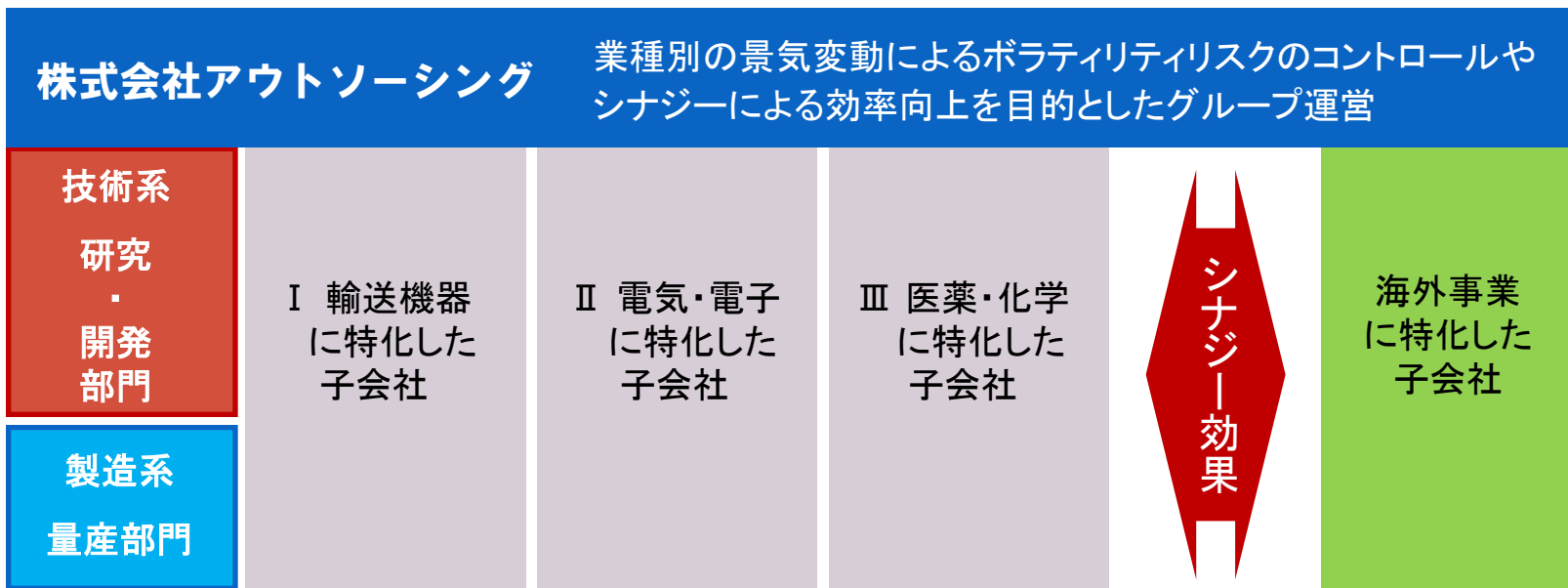
(株)ミストラル

2010年4月28日
わらべうた(株)売却

アウトソーシンググループ整備・再編に係る強化事業

- 業種特化子会社による一括受託事業
 - 輸送機器関連
 - 電気・電子関連
 - 医薬・化学関連
- 海外事業

- アウトソーシンググループ整備・再編後の強化事業



一括受託の前提となる派遣技術者供給体制・受注の状況

● 技術者派遣市場の背景

- メーカーは、大不況による開発予算の大幅縮小により、技術社員を極限まで削減した結果、2010年度の景気回復時において、技術社員の不足が顕著化

同業他社からの、
当社グループへの転籍希望者

約200名

大不況時においても安定経営を維持した
当社グループへ、
有能な技術派遣社員の転籍希望が増加

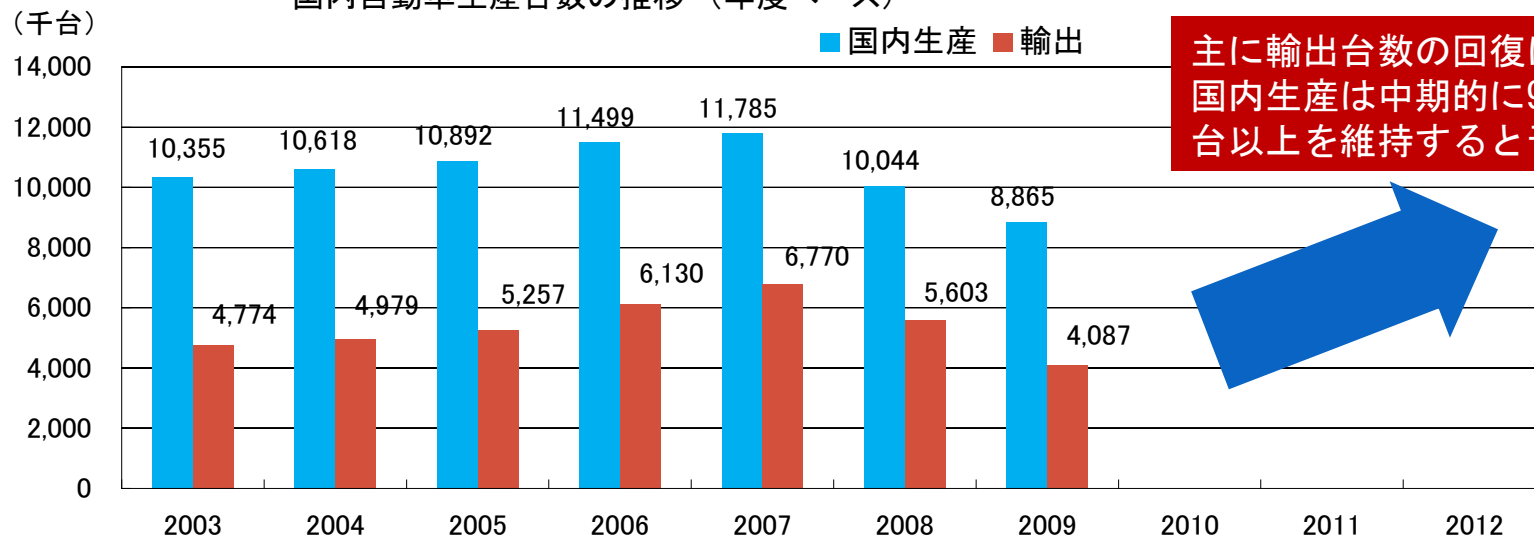
技術者派遣の受注については、募集費をかけることなく
即座に有能な技術社員を獲得し、メーカーに供給することが可能

● 派遣技術者の下期受注状況

受注見込先	見込人数	開始予定時期
A社 自動車設計開発業務全般	50名	7月受注確定済み 子会社聖翔が、A社の購買限定規程で優先発注先に選定
B社 半導体製造装置設計開発	20名	7月受注確定済み
C社 液晶パネルの装置メンテナンス業務	30名	9月開始予定 アウトソーシングでの技術・量産部門と一括受託
D社 半導体製造装置のFE業務	10名	9月開始予定 海外での据付・調整業務を受託でスタート
E社 半導体製造装置のFE業務	20名	10月開始予定

● 事業環境

国内自動車生産台数の推移（年度ベース）



主に輸出台数の回復により、国内生産は中期的に900万台以上を維持すると予想

出所：日本自動車工業会

● 自動車関連業界動向予想

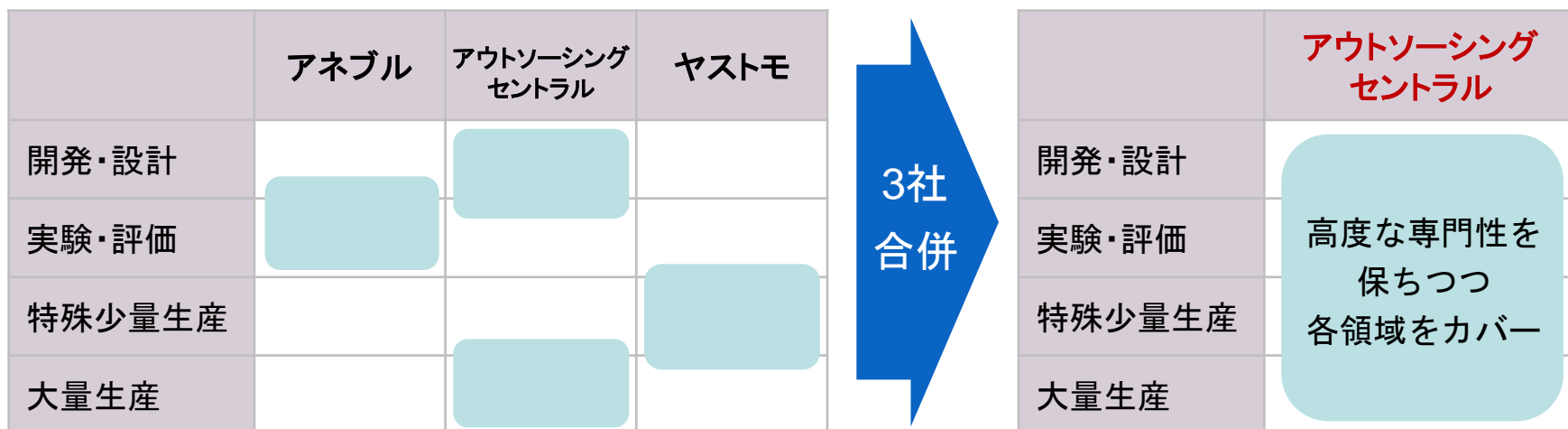
短期

2010年10-12月期は減税打ち切りの影響で国内生産はやや弱含むことが予想されるが、新興国の購買力の高まりと国内モデルチェンジ等の効果により、2011年以降は安定的な生産基調に戻ると予想

中期

生産外部委託の増加、ならびに生産アウトソーシング業者の淘汰を通じた勝ち残り組による市場シェアアップ

● 3社合併を通じ、高度な専門性を持つ事業インフラを構築



● 3社合併による高度な事業インフラが可能にする下期事業展開

- CNG(天然ガス)の試験サービスを開始
 - ◆ 大手自動車メーカーA社と新規取引を開始
- 水素を活用したエンジンの試験サービス開始
- アウトソーシングセントラル国内請負事業所における外国人研修生の受け入れ
 - ◆ 国内取引メーカーのアジア現地工場へ幹部候補生として再配置
- これら多様なサービス体制が評価され、大手自動車メーカーB社と新規取引開始

他の生産アウトソーシング業者とは一線を画す、専門サービスから量産に至る一貫したサービス体制を活かし、大幅なシェアアップにより業容を拡大

● 事業環境と事業戦略

現状の市場

電気・電子業界において、
業績回復が特に顕著な半導体市場

将来の見通し

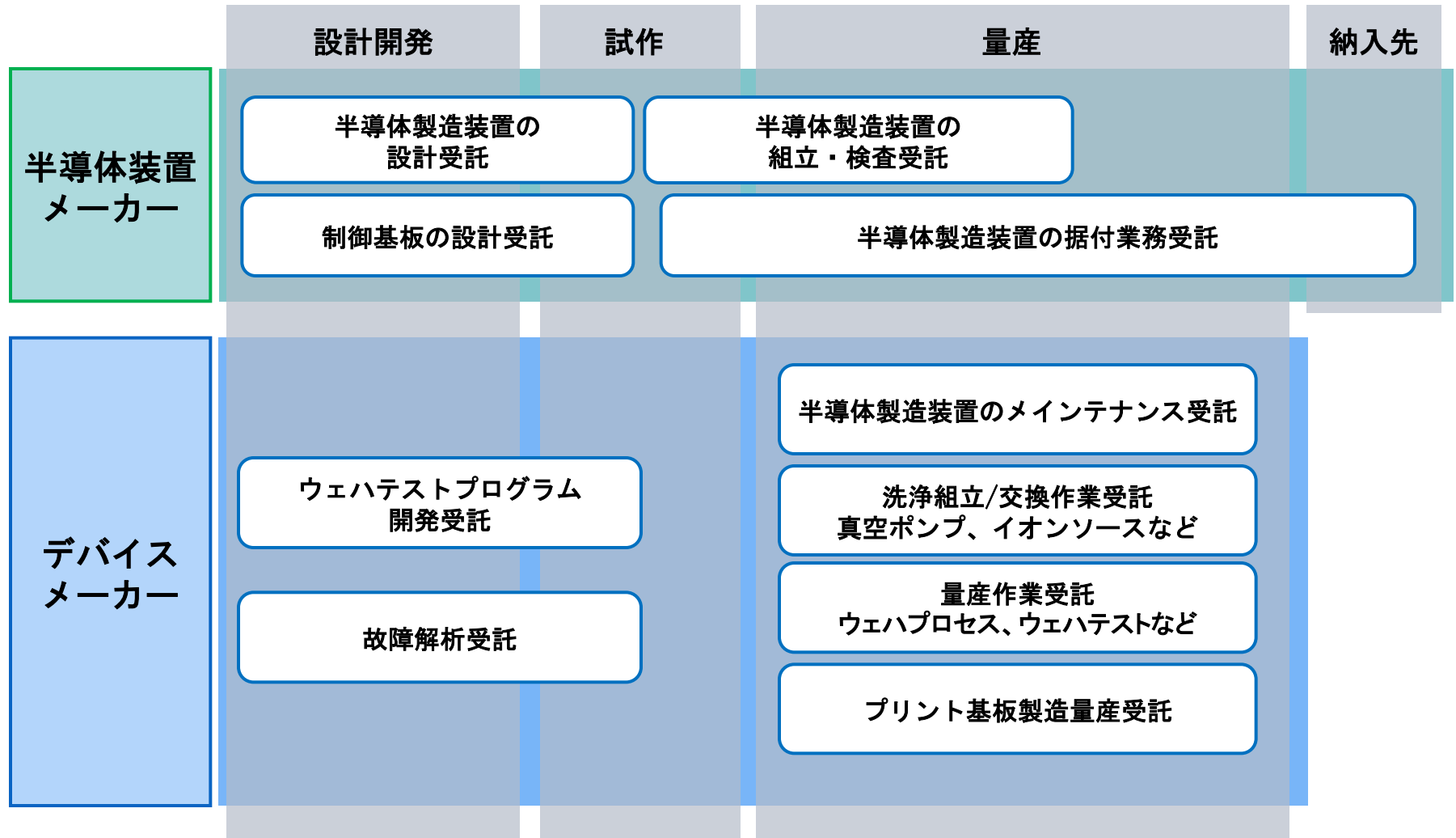
半導体を使う最終製品は拡大基調
生産： デバイスは主に海外
半導体製造装置は主に国内

業界の課題

半導体の種類毎に生産量のぶれが大きい
→ 1社1工程のアウトソーシングは高リスク

当社グループのターゲット 【半導体産業】
工 程： 開発～製造～メンテナンスの一括請負化
ドメイン： 製造装置～デバイスメーカーへの拡大

● 事業領域



● 事業展開

拡大・発展

- 統括管理部門の設置
大手半導体装置メーカーの製造部門の統括部長を責任者として招聘
- 顧客メーカーとの調整
- 協力会社との調整
- 当社グループ内連携手配

- 顧客メーカーとの取引開始
(初期は製造業務から)
- 協力会社との連携開始
- 当社グループ活動開始
- 進捗推進・管理の開始

- 顧客の拡充
- 受注業務内容の拡大
(開発・試作業務参入)
- 当社グループ連携により一括請負受注体制の構築

準備期間

2010年12月期
上期

事業立上げ期

2010年12月期
下期

事業拡大期

2011年12月期
以降

● 市場動向と、子会社(株)トライアングルによる下期受注

- 医薬系企業などにおいて、ブロックバスター医薬群の特許切れ(いわゆる2010年問題)を契機に、低分子医薬のコモディティ化が進む一方、抗体医薬などのバイオ創薬が躍進



- 新事業シーズの開拓を図るも、技術や人材、設備の不足するメーカーに対し、当社がそれら企業の探索研究を受託し、大学等との共同研究により解決する新サービスを提供

大学発製薬ベンチャー企業とのパートナーシップ契約による一括受託

- 6月 臨床技術者を派遣
- 7月 ワクチン製造工場へマネージャーを有料職業紹介にて正社員紹介
- 8月 ワクチン製造工場への生産技術者約40名の派遣受注(追加20名見込)
- 2011年 静岡新工場での受注見込み

● 市場動向と、子会社(株)アールピーエムによる下期受注

- 新薬メーカーのジェネリック事業への参画や、使用促進策等によりジェネリック医薬品の地位向上が見込まれる中、開発競争が激化

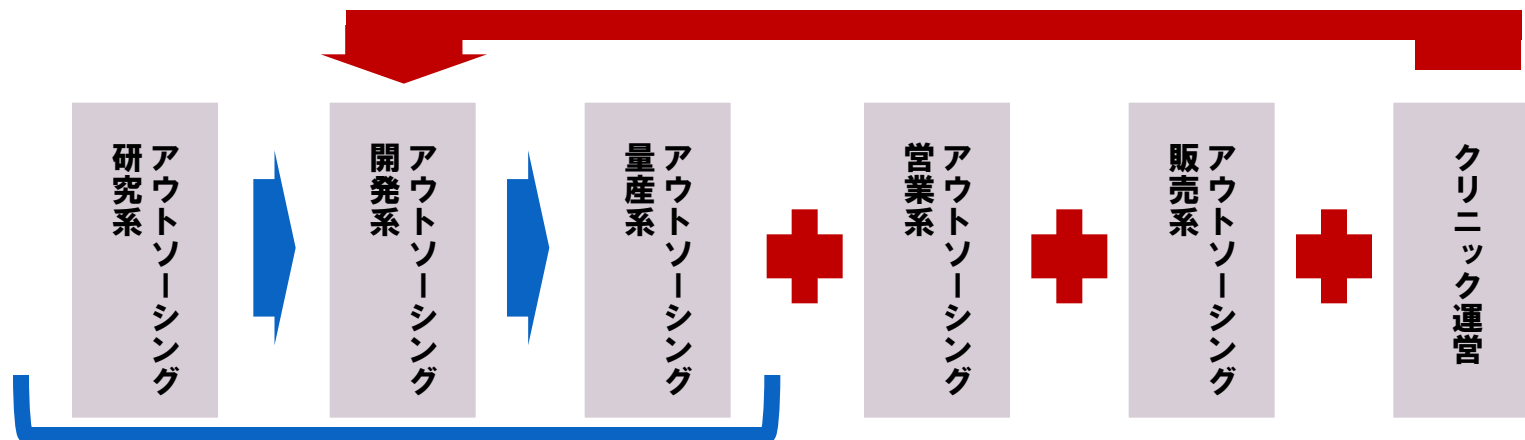


- 一方、ジェネリック医薬品開発に対応可能な医師や医療施設の不足が懸念

ジェネリック開発の治験対応可能な、治験実施サイト(クリニック)と9月より契約

- ◆ ジェネリックメーカー数社との受託業務契約済み
- ◆ 既存取引先の新薬メーカーよりの依頼も増加
- ◆ 治験実施サイトとの契約によるモニタリング受託の増加により、さらに、データマネジメント、統計解析、品質管理までの開発業務一括受託を受注

● 2010～2012年メディケミカル戦略



医薬・化学分野において、
『研究 ⇒ 開発 ⇒ 量産系までのプロジェクト一括受託』は、
10年以上の契約が継続

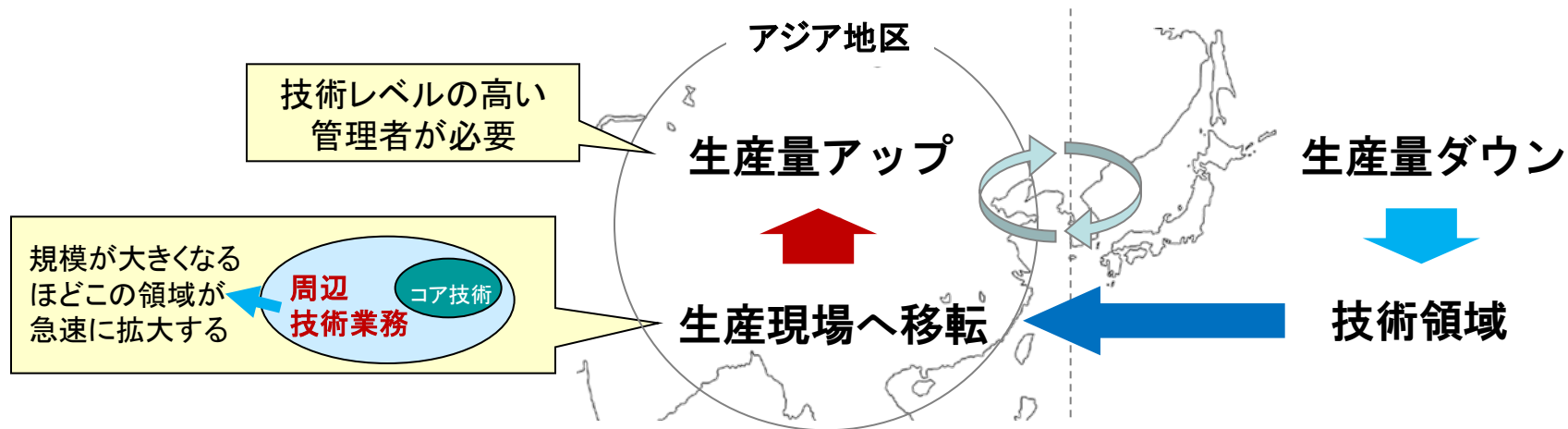
営業戦略や販売戦略の立案をメーカーと共同で行うことで、
さらに長期のパートナーシップ体制を確立し、
またクリニック運営先での製薬メーカーの治験において臨床開発を行い、
その後の量産部門受託に繋げる拡大スパイラルを構築する

- 海外事業部門の設置 2009年12月
 - 中国を含む数カ国で、海外拠点を設置した実績・ノウハウを持つ責任者を招聘

- 奥拓索幸(上海)企業管理服務有限公司の設立 2010年8月20日予定
 - 基本戦略
 - ◆ グループ内の専門子会社との連携による現地企業への質の高い技術提案を行う
 - ◆ 技術領域の受託を行うことにより、研究・開発から量産部門までを一括で受託できる基盤を作る
 - ◆ 日本の開発、生産ノウハウを必要とする現地企業に当社グループのノウハウを提供する

 - 下期戦略 ～ 当社グループのノウハウを活用した専門性の高い受託事業を行う ～
 - ◆ 当社グループの技術社員による、現地での技術指導及びコンサルティング業務の受託
 - ◆ 現地企業の幹部候補の育成に対して技能実習生制度活用の提案
 - ◆ 当社業種特化子会社との連携による現地での提案による技術業務の受託
 - 輸送機器分野における技術業務の受託
 - 電気・電子分野における技術業務の受託
 - 医薬・化学分野における技術業務の受託

● 2010～2012年 アジア地区展開計画



① 製造分野を海外へ移転する企業向け戦略

現地で、生産管理ができる現地人リーダーのニーズが拡大

当社の営業ノウハウとテクスマイルのノウハウによる技術実習生制度の活用

② 技術分野を海外へ移転する企業向け戦略

現地で、技術開発を行える中核技術者のニーズが拡大

当社の技術派遣グループのノウハウを活用した外国人技術者派遣事業

③ 現地国の消費マーケットを対象としている企業向け戦略

現地法人を設立し、拡大する請負・受託ニーズに対応

①～③を行うことで技術開発から生産までの一括受託が可能

2010年12月期 業績修正と予想について



2010年12月期 業績予想修正の概要

<第2四半期>

連結 (百万円)	2010年12月期 2Q(当初予想) (10年2/10付)		2010年12月期 2Q修正予想 (10年7/14付)		増減額	増減率	2010年12月期 2Q 実績
	金額	構成比	金額	構成比			
売上高	12,300	100.0%	12,800	100.0%	500	4.1%	12,839
営業利益	520	4.2%	230	1.8%	△ 290	-55.8%	256
経常利益	570	4.6%	370	2.9%	△ 200	-35.1%	379
当期純利益	340	2.8%	160	1.3%	△ 180	-52.9%	162

単体 (百万円)	2010年12月期 2Q(当初予想) (10年2/10付)		2010年12月期 2Q修正予想 (10年7/14付)		増減額	増減率	2010年12月期 2Q 実績
	金額	構成比	金額	構成比			
売上高	6,900	100.0%	7,750	100.0%	850	12.3%	7,765
営業利益	160	2.3%	280	3.6%	120	75.0%	305
経常利益	200	2.9%	350	4.5%	150	75.0%	373
当期純利益	120	1.7%	200	2.6%	80	66.7%	211

<通期>

連結 (百万円)	2010年12月期 通期(当初予想) (10年2/10付)		2010年12月期 通期修正予想 (10年7/14付)		増減額	増減率
	金額	構成比	金額	構成比		
売上高	26,000	100.0%	28,500	100.0%	2,500	9.6%
営業利益	1,600	6.2%	1,600	5.6%	0	-
経常利益	1,700	6.5%	1,800	6.3%	100	5.9%
当期純利益	1,000	3.8%	1,050	3.7%	50	5.0%

単体 (百万円)	2010年12月期 通期(当初予想) (10年2/10付)		2010年12月期 通期修正予想 (10年7/14付)		増減額	増減率
	金額	構成比	金額	構成比		
売上高	14,600	100.0%	16,400	100.0%	1,800	12.3%
営業利益	500	3.4%	800	4.9%	300	60.0%
経常利益	580	4.0%	900	5.5%	320	55.2%
当期純利益	350	2.4%	550	3.4%	200	57.1%

2010年12月期 連結業績予想の概要

(百万円)	2009年12月期 通期 実績		2010年12月期 上期(実績)		2010年12月期 下期(予想)		2010年12月期 通期(予想)		増 減 前年同期比	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比	金額	率
売上高	17,964	100.0%	12,839	100.0%	15,660	100.0%	28,500	100.0%	10,536	58.7%
売上原価	14,578	-	10,294	-	-	-	-	-	-	-
売上総利益	3,386	18.9%	2,545	19.8%	-	-	-	-	-	-
販売管理費	3,536	-	2,288	-	-	-	-	-	-	-
営業利益	△ 150	-0.8%	256	2.0%	1,343	8.6%	1,600	5.6%	1,750	-
営業外収益	318	-	311	-	-	-	-	-	-	-
営業外費用	146	-	188	-	-	-	-	-	-	-
経常利益	22	0.1%	379	3.0%	1,420	9.1%	1,800	6.3%	1,778	8081.8%
特別利益	6	-	31	-	-	-	-	-	-	-
特別損失	205	-	58	-	-	-	-	-	-	-
当期純利益	△ 215	-1.2%	162	1.3%	887	5.7%	1,050	3.7%	1,265	-

※予想は2010年7月14日付

2010年12月期 配当予想修正の概要

(円 銭)	1株当たり配当金				合計
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	
前回予想(10年2/10付)	-	0.00	-	672.00	672.00
今回修正予想(10年7/14付)	-	0.00	-	721.00	721.00
当期実績	-	0.00	-		
前期実績(2009年12月期)	-	0.00	-	644.00	644.00

- 当社グループにおける配当政策である、配当性向10%を目処に配当を行う方針にもとづき、当期純利益の上方修正を受け、1株当たり予想期末配当金を721円に増配修正

- 高度化するメーカーニーズに対応し
必要な経営資源をM&A等で獲得したことにより、
2008年の金融破綻による不況後の
回復基調にあたる向こう3年間は
年平均経常利益成長率50%以上を目指す

参考資料



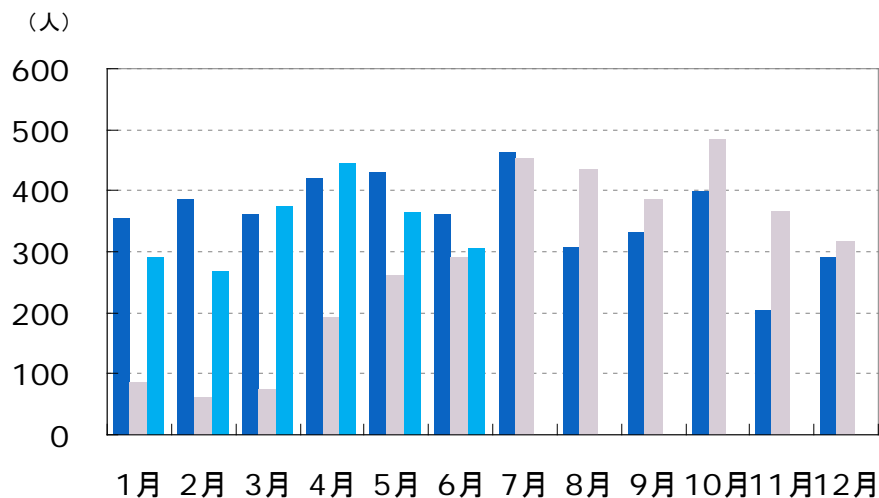
連結業績の推移（四半期）

(百万円)	2009年12月期				2010年12月期	
	実績 1Q	実績 2Q	実績 3Q	実績 4Q	実績 1Q	実績 2Q
売上高	4,007	3,725	4,397	5,832	6,282	6,557
売上総利益	487	687	877	1,332	1,282	1,262
粗利率	12.2%	18.5%	20.0%	22.9%	20.4%	19.3%
販売管理費	791	758	826	1,159	1,154	1,134
販管費率	19.7%	20.4%	18.8%	19.9%	18.4%	17.3%
営業利益	△ 303	△ 70	51	172	128	128
営業利益率	-7.6%	-1.9%	1.2%	3.0%	2.0%	2.0%
経常利益	△ 274	△ 32	90	238	207	172
経常利益率	-6.9%	-0.9%	2.1%	4.1%	3.3%	2.6%

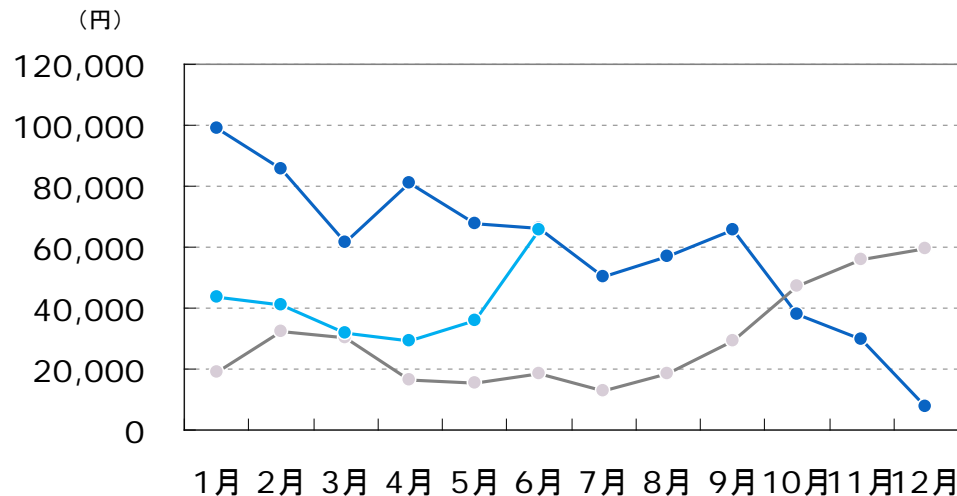
対前四半期 変化率	2009年12月期				2010年12月期	
	実績 1Q	実績 2Q	実績 3Q	実績 4Q	実績 1Q	実績 2Q
売上高	-31.3%	-7.0%	18.0%	32.6%	7.7%	4.4%
売上総利益	-56.6%	41.1%	27.6%	51.8%	-3.8%	-1.6%
販売管理費	-2.1%	-4.1%	8.9%	40.4%	-0.5%	-1.7%
営業利益	-	-	-	236.7%	-25.6%	0.0%
経常利益	-	-	-	162.4%	-12.8%	-17.0%

生産アウトソーシング事業 採用人数と採用単価の推移(月次・単体)

月次採用人数

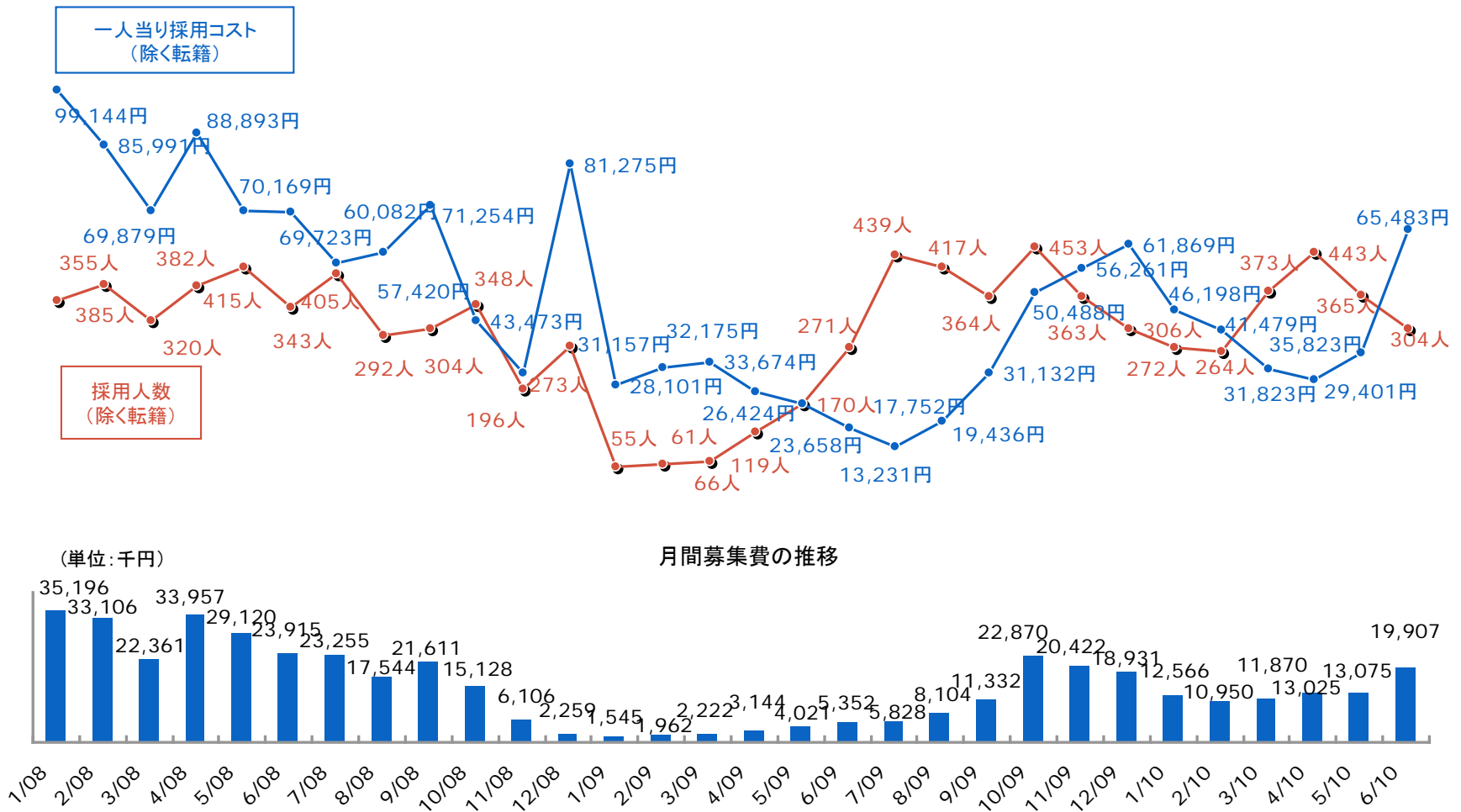


月次採用単価

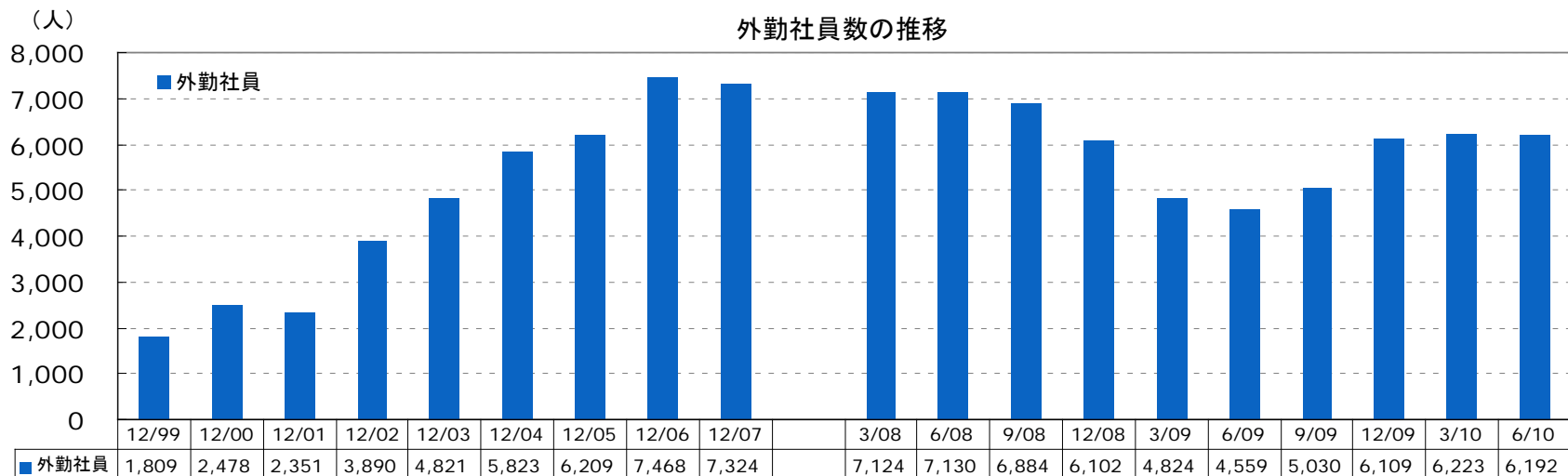


	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
2008年採用人数+転籍人数 (人)	355	387	362	420	430	361	463	308	331	399	205	290
2009年採用人数+転籍人数 (人)	85	61	74	193	261	290	452	436	385	485	366	318
2010年採用人数+転籍人数 (人)	289	267	375	444	365	304						
2008年採用単価 (円) (転籍含む)	99,144	85,546	61,772	80,850	67,721	66,247	50,227	56,961	65,441	37,917	29,789	7,790
2009年採用単価 (円) (転籍含む)	18,813	32,175	30,034	16,292	15,410	18,458	12,850	18,589	29,434	47,157	55,800	59,534
2010年採用単価 (円) (転籍含む)	43,480	41,013	31,653	29,335	35,823	65,483						

生産アウトソーシング事業 月間募集費の推移(月次・単体)



外勤社員・派遣社員数の推移(四半期・連結)



※ 外勤社員： 顧客メーカーにおける現場作業従業員の総称で、稼働中の派遣契約社員も含まれます。

この資料には、当社の計画や業績予想が含まれていますが、それらの計画や予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき当社が計画、予想したものです。
従いまして、実際の業績などは、今後、様々な要因によって計画、予想数値と異なる結果となる可能性があります。

株式会社 アウトソーシング!

経営管理本部

TEL:054-266-4888 FAX:054-255-0009

E-Mail:os-ir@outsourcing.co.jp

URL:<http://www.outsourcing.co.jp>